

保育園の清掃・調理補助を受注 民営の放課後児童クラブでも就労

公益社団法人
広島市シルバー人材センター
(広島県)

広島市SCは、平成10年ごろから、市立保育園で清掃業務をスタート。近年は、私立保育園での就業も増えている。また、令和元年度には、放課後児童クラブへの補助員の労働者派遣を開始し、現在は民営の10教室で22人の会員が就労している。ただ、就業できる会員が不足しているため、今年度は就業・就労機会の拡大と会員増強の両輪で取り組んでいく。

市立保育園で 保育士をサポート

広島市SCは、地域社会の課題解決に貢献するため、子育て支援事業を積極的に展開している。主な仕事は、保育園での清掃業務・調理補助などと、放課後児童クラブの補助業務である。各業務の目的は、保育園では保育士が本来の業務に専念できるようサポートすることであり、放課後児童クラブでは子育て世代と子どもへの支援を行うことである。

笹口八恵美常務理事(事) 事務局長は「会員には、次世代を支える事業に携わること、より健康になり生き生きと輝いてほしいと

願っています」と話す。

広島市SCでは、平成10年ごろに、広島市こども未来局から市立保育園のほぼ全園について、廊下や階段、テラス、トイレの清掃などの業務の受注を始め、現在、85園で会員約150人が就業している。就業時間帯は、園児が昼寝をする午後の2〜3時間程度。1つの園につき会員2〜3人がローテーションで就業している。

このほか、市立保育園83園、市立幼稚園19園では、低木の剪定、除草なども受注している。

さらに女性会員の就業機会を拡大するため、令和2年度からは私立保育園へのアプローチも開始した。令和4年度は、個々の園に対

してではなく、一般社団法人広島市私立保育協会や一般社団法人広島市私立幼稚園協会などにもPR。その結果、新たに3施設で清掃・調理補助などの受注につながった。現在は、私立保育園・幼稚園16園から調理補助や屋内・園庭の清掃、除草、水やりなどを受注し、35人程度の会員が就業している。

令和4年度の保育園・幼稚園関係の契約金額は、約6980万円となった。

市立保育園で1日約3時間、週3日、3か所のトイレを清掃している仲間陽子さんは、「子どもたちに会えるのが、とにかく楽しいです。子どもは顔を覚えてくれるので、私もなるべく覚えるよう

にしています。短時間の就業ですが、しっかりと体を動かすので健康に良いし、なんといっても園児たちと触れ合うことで元気になる

ますね」と笑顔で話す。

園長も「以前は、昼寝や合同保育の時間帯に保育士がトイレ清掃をしており、その間はほかのクラ



市立保育園で、トイレ清掃をする会員の仲間陽子さん(写真上)。就業は1日約3時間、週3日。清掃作業中、園児たちとの会話は楽しみの一つだ



仲間さんが就業する市立保育園の園長(写真右)も、「おかげで手厚い保育が可能になりました」と、会員の就業ぶりを高く評価する

スの保育士が見守っていました。昼寝中、保育士は園児がいつも通りの呼吸をしているか、体調がすぐれない園児がいかなかなど、注意しなければなりません。仲間さんのようなシルバークラブの会員さんが来てくださっているおかげで、そのような時間にも、子どもをそばから離れずに保育をすることができています。また、子どもたちは仲間さんに声を掛けてもらい、たくさんの人に見守られているという安心感を抱いていると思います」と話した。

放課後児童クラブへ 補助員を派遣

現在、広島市内には、放課後児童クラブが公営で136か所、民営で85か所ある。

広島市SCが民営の放課後児童クラブへの補助員の労働者派遣(以下、派遣)を始めたのは、令和元年度のことである。

放課後児童クラブへの派遣を檢

討したのは、国から放課後児童健全育成事業におけるシルバー人材センターの活用について通知が出たことがきっかけだった。当時から広島市はセンターの事業に協力的で、公営の放課後児童クラブでの早期の導入は困難であったが、この頃、市内にオープンし始めていた民営の放課後児童クラブに市が通知などを出す際には、センターが補助員を派遣している旨をPRするチラシなどを同送し、周知活動をサポートしてくれたのである。その結果、民間事業者から問い合わせが来るようになり、「放課後児童クラブないうる」を運営するイベントグループ株式会社への派遣に結び付いた。

最初は、2か所への派遣だったが、会員の働きぶりは高く評価された。そして、イベントグループの教室の増加(現在、12か所)に伴い、会員が就労する放課後児童クラブも増えて、今では10教室で会員22人が就労している。

令和4年度の放課後児童クラブの契約金額は、約963万円となつた。

放課後児童クラブでの就労時間は教室によって異なるが、会員は週2〜3日、1日3時間程度、シフト制で就労している。

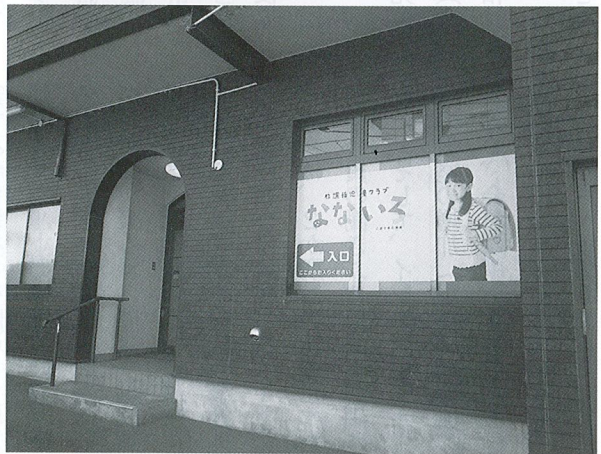
就労会員の主な役割は、指導員の補助である。指導員の目が届きにくいところに注意を払うほか、児童におやつを出したり、一緒に遊んだりすることもあるという。

放課後児童クラブのない幼稚園教室で、令和3年3月から就労している中野映子さんは、「自分の娘の子育てを見ていて、若い人たちの子育てを手助けしたいと思い、就労を決めました。放課後児童クラブで子どもと一緒に遊ぶことが楽しみとなっています」と話す。

井尻万里湖さんは「外へ出て人と会う仕事がしたいと思いました。放課後児童クラブは、子どもたちを大人みんなが見守る仕事だと思



会員が補助員として子どもの見守りを担う「放課後児童クラブのない」。10教室で22人が就労している



います。マスクをしているので、子どもの名前が覚えられず苦労していますが、子どもと遊ぶことは楽しくやりがいを感じています」と言う。

会員の就労姿勢に対する同クラブ職員の評価は高く、「責任感が強い人が多くて、シフトもきちんと守ってくれる。自発的に動き、意見を言ってくれるので助かっている」と喜ばれている。

センターは、イベントグループ以外の民営の放課後児童クラブにもアプローチをして、就労機会の開拓を進めているが、今のところ、成果には結び付いていないという。

その理由について、谷中久美子業務第一係長は「放課後児童クラブの多くは、指導員の資格を持っている人材を求めています。センターの会員のうち資格を持つ

就業・就労会員不足が課題

令和5年度は前年度と同様に、広島市私立保育協会や広島市私立幼稚園協会などに働き掛け、就業機会の拡大を図っていく方針だ。

放課後児童クラブの就労機会の拡大については、民間の放課後児童クラブや運営法人等に対して、センターの就業開拓推進員が訪問や電話、文書などでアプローチしていくことにしている。

また、笹口事務局長は「今後は、広島市所管の放課後児童クラブへの会員の派遣についても、広島市教育委員会と協議を進めることとしており、補助員の派遣を民営だけでなく公営に拡大できる可能性が見えてきました」と、期待を込める。

就業・就労機会が順調に広がった影響もあり、令和4年度のセンターへの入会者数は585人、会員数は3年ぶりに増加に転じ3547人となった。特に、令和4年

度から、女性会員の確保に向けて本格的に取り組むこととし、女性限定の入会説明会の開催や、女性会・老人クラブ・社会福祉協議会などの地域団体と連携した入会促進を進めている。その結果、女性会員の伸びが大きいことが特徴である。

しかし、依然として会員は不足している。特に、保育園の清掃業務には常に150人以上の会員が就業していますが、家庭の事情などで辞退する人も多く、安定的な就業配置に苦慮しています」と小畑朋雅業務第二係長は現状を語る。

一方、放課後児童クラブは、元気な子どもが対象であることから、ある程度の体力も必要であり、就労できる会員探しに苦労するとう。令和5年3月に就労先が2か所増えたことに伴い、4人の会員を新たに配置する必要があった。春休みまでに探してほしいとの希望だったが、会員を探す期間も短かったため3人しか派遣できず、

残りの1人を探しているところである。

事業を続けるためにも、できるだけ元気な会員の確保がポイントとなっている。ただし、入会しても仕事がないといった事態にならないよう、会員拡大と就業開拓の両輪で取り組む必要があります」と谷中業務第一係長は話す。

また、ニーズがあっても就業できる会員がいない地域もあることから、今後は、特定の区にターゲットを絞って入会説明会を行う会員増強策も検討しているという。

「保育士不足が課題となつている中、保育士をサポートする役割を担う補助員のニーズは潜在的にあると考えています。就業・就労拡大の機会を逃さないためにも、引き続き会員の確保に取り組むたい」と小畑業務第二係長。

笹口事務局長は「子育て支援業務を増やせば、女性会員の増強だけでなく就業機会の拡大にもつながるといふ相乗効果が見込まれま

す。これからも積極的に事業を推進し、会員の経験や知識、能力を十分に生かせる場を提供して、地域社会の維持・発展に貢献する、魅力あるセンターづくりを生かしていきたい」と話した。

(井本句子)

事業運営状況 (平成29年度～令和3年度)

年度	会員数			租入 会率 %	就業実人員 (延人員) (人日)	就業 率 %	受注 件数 件	契約金額 千円	公民比 %
	男	女	計						
平成29	2,356	1,277	3,633	1.0	2,613 (336,429)	71.9	13,465	1,556,399	24.6/75.4
30	2,425	1,333	3,758	1.0	2,780 (325,577)	74.0	13,114	1,542,857	24.9/75.1
令和元	2,504	1,398	3,902	1.1	2,835 (324,405)	72.7	13,157	1,584,013	23.8/76.2
2	2,466	1,341	3,807	1.0	2,803 (308,352)	73.6	12,132	1,507,190	24.8/75.2
3	2,258	1,261	3,519	0.9	2,684 (291,585)	76.3	11,924	1,384,574	26.8/73.2

※受注件数、就業実人員、契約金額は請負・委任と労働者派遣事業を合計した数値
 ※就業実人員は平成29年度まで請負・委任、平成30年度以降は請負・委任と労働者派遣事業が対象
 ※就業実人員は令和2年度から労働者派遣事業の教育訓練受講を含む